

看護部
だより

ナースキャンプ

No.3

基礎Ⅲ

宿泊研修

H19
6/22~23

三ケ日
青年の家にて

3年目の看護師に期待すること

4西 中山達也

平成19年度の基礎Ⅲ研修では、スローガンとして「自分以外にも目を向けよう（咲かせた花に実をつけよう）」を掲げ、基礎研修3年間の最終年として、研修者それぞれのリーダーシップを育てていくことを目標に、研修に取り組んでいます。

研修内容としては、自己目標の立案からスタートし、①料理コンテスト、②三ヶ日青年の家での宿泊研修③ロールプレイング（リーダー体験）、④事例検討会があります。研修での体験を通じて、リーダーシップ、メンバーシップを理解し、研修と日々の業務がリンクするように、それぞれが培ったリーダーシップを職場で実践していくことが目標です。先日の宿泊研修では、荒波の中カッター訓練を行いました。悪天候による荒波が研修者を一段とたくましくさせてくれたのではないでしょう

今年度から教育委員となり、基礎Ⅲ研修の担当者となりました。まだまだ未熟である私にとって、とてもプレッシャーのかかる仕事でありますが、同時にやりがいのある仕事だと感じていま

す。3年目の看護師たちと同じ目線で考え、身近な立場からのアドバイスやディスカッションをしていけたらと思っ



豪雨の中でのカッター訓練



『救急医療研究会』として

活動をはじめました

救急外来 清水まゆみ

心肺停止時の初期対応が、救命にたいへん重要である事が言われ始め、院内職員23名の会員で本年度『救急医療研究会』の活動を始めました。消化器科 石津医師を部長、循環器科 内山医師と榛葉看護師を副部長とし、医師・看護師・検査技師・放射線技師・院内様々なメンバーが集まって5月からスタートしました。

最初の10分の初期対応をスタッフ全員が熟知し、心肺停止患者では刻々と変化する病態を予測して医師の指示に対応できたら…。医師が到着までに現場に居合わせた医療者として何をしたら良いのかを学び、質の良い心臓マッサージと確実な人工呼吸、適切な治療がスムーズに行なわれる事ができるように学習しています。

月1回の研究会は業務終了後18:00頃からシミュレーションを中心に行なっています。会員のスキルアップとともに各自が日々感じている疑問点や学びたい内容を皆で共有できたらよいと考えています。

「心肺蘇生の質が救命の成否と予

後を決定する最大の因子である」と

いわれています。院内職員の救命に関する知識・技術を向上させると共に、活動に賛同でき研究会に参加できるメンバーが増えるように頑張っています。



研修会の様子

東京女子医科大学
看護学部1年生34名が、
6月29日、7月4日の
2日間、
見学実習に來ました

